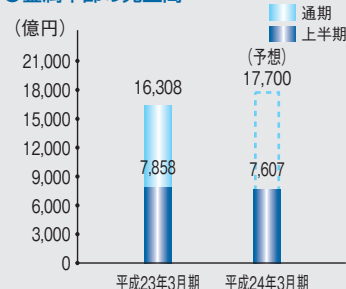


金属本部



鉄鋼分野では、中国における現地調達化の進展に合わせ上海近郊に、特殊鋼の保管、切断等を行う会社を本格稼働させました。非鉄金属分野では、業務の効率化、一体化によるシナジー創出を目指し、国内のアルミ溶湯事業会社3社を統合しました。また、レアアースの資源開発に引き続き注力しました。鉄鋼原料分野では、国内のスクラップの取り扱い拡大を目的として東北における加工工場の拠点展開を推進しました。売上高については、震災による自動車生産減の影響により、前年同期を251億円(3.2%)下回る7,607億円となりました。

●金属本部の売上高

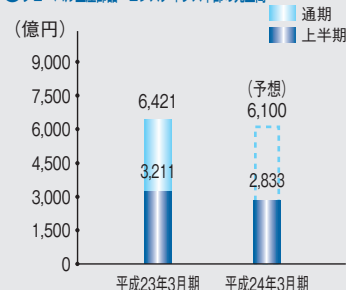


グローバル生産部品・ロジスティクス本部



物流の効率化・機能強化に向けて、豊通物流株式会社の第2三好センターの建設を進めています。また、中小部品メーカーの海外進出を支援するため、インドネシアで工業団地運営会社の設立に着手しました。売上高については、第2四半期に入り海外自動車生産は徐々に回復しつつあるものの、震災の影響により、中国、アジア、米国向けを中心に、海外自動車生産用部品の取り扱いが減少したことから、前年同期を378億円(11.8%)下回る2,833億円となりました。

●グローバル生産部品・ロジスティクス本部の売上高

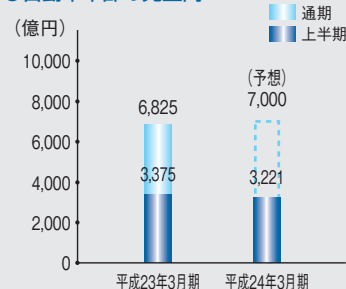


自動車本部



中国等の新興国を中心に自動車販売拠点を拡充する一方、部品・サービスや中古車販売など、既存事業のバリューチェーン強化に取り組みました。また株式会社タルガへ100%出資し、国内の輸入車用品卸売事業を強化しました。売上高については、震災影響による国内の自動車生産の減少を受け、輸出入取扱台数が減少したことにより、前年同期を154億円(4.5%)下回る3,221億円となりました。

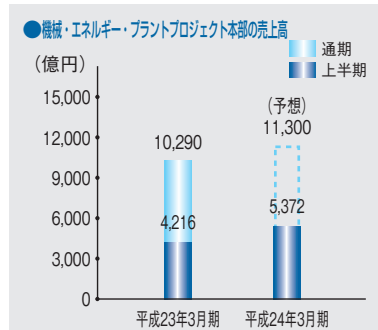
●自動車本部の売上高



機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部



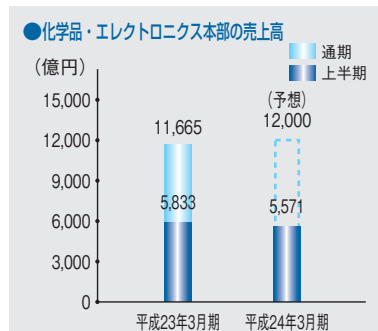
機械分野では、産業車輛のグローバル展開を加速するため中国でフォークリフトディーラーに出資しました。エネルギー・プラントプロジェクト分野では、引き続き発電事業に注力しました。売上高については、原油価格の上昇等により、前年同期を1,156億円(27.4%)上回る5,372億円となりました。



化学品・エレクトロニクス本部



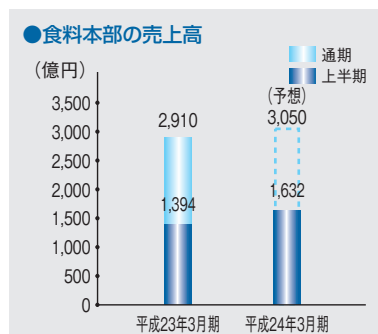
化学品・合成樹脂分野では、スペインのバイオ医薬品製造会社と対日総代理店契約を締結しました。エレクトロニクス分野では、さらなる事業の拡大を目指し、エレマテック株式会社と資本業務提携契約を締結しました。売上高については、エレクトロニクス部品の取り扱い減少と価格下落、震災の影響による国内外での自動車生産の減少により、第2四半期は回復基調にあったものの、前年同期を262億円(4.5%)下回る5,571億円となりました。



食料本部



穀物分野では、関東・東北地区の穀物サイロが震災被害を受けましたが、東北地区の需要家、畜産農家への原料供給を最優先に位置付け、早期の機能回復に全力をあげて取り組みました。食品分野では、海外市場への進出を加速する方針のもと、欧州最大のナッツ・ドライフルーツ専門商社へ出資したほか、インドネシアで清涼飲料用ペットボトル製造・受託充填の合弁会社を設立しました。売上高については、飼料原料および小麦の価格上昇ならびに取り扱い伸長等により、前年同期を238億円(17.1%)上回る1,632億円となりました。

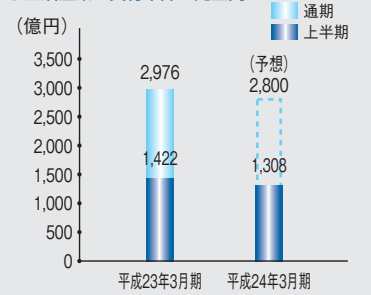


生活産業・資材本部



ライフスタイル分野において、介護事業の拡大を目指し、株式会社サークルKサンクスと共同で、実店舗およびインターネットでの通販サービスによる介護用品の取り扱いを開始しました。都市開発分野では、福岡県に複合型商業施設「GRANDMALL」をオープンしました。また、保険分野では、ベトナムにおいて日系企業初の保険仲介事業を開始しました。売上高については、第2四半期に入り自動車等の生産が回復基調にあるものの、震災の影響により、エアバッグやフロアマットなど、自動車向け資材・用品の取り扱いが減少したことから、前年同期を114億円（8.1%）下回る1,308億円となりました。

●生活産業・資材本部の売上高



財務ハイライト（連結）

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

（百万円未満切り捨て）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,756,444	0.8	35,061	△25.0	53,489	△7.8	33,164	22.4
23年3月期第2四半期	2,733,244	19.9	46,733	132.0	58,028	137.3	27,103	181.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 15,065百万円（－） 23年3月期第2四半期 △6,039百万円（－）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	94.84	—
23年3月期第2四半期	77.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,387,564	670,543	25.1
23年3月期	2,436,248	667,378	24.4

2. 配当の状況

(基準日)	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	12.00	16.00	28.00
24年3月期	16.00	—	—
24年3月期(予想)	—	23.00	39.00

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,000,000	4.5	93,000	9.0	116,000	11.3	66,000	39.9	188.74

●セグメント別売上高比率（平成24年3月期第2四半期連結累計期間）

生活産業・資材 4.7% 其他 0.1%

